

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

3 March

14日 卒業生フオロアップセミナー @東京を東京サテライトオフィスで開催

18日 大学院自然科学研究科博士後期課程の山口大介さんと博士前期課程の重廣司さんが平成25年度仁科賞を受賞

18日 定例記者発表を開催

18日 平成25年度学生文化奨励賞・学生スポーツ賞授与式を挙行し、個人の部97人・団体の部13団体が受賞

18日 本校や地元企業などが開発した医療機器を紹介する展示会岡山メテikalインノベーションを開催

19日 第3回岡山大学知財フォーラム2013を開催

19日 岡山大学サイエンストークを開催

19日 大学と連携して受動喫煙防止対策に取り組んだ岡山大学生協学生委員会CCC「健康Project team」に感謝状を贈呈

20日 後期日程試験の合格者を発表

20日 学会等が制定する賞を受賞した学生を顕彰する平成25年度「学会賞等受賞者表彰式」を挙行し、学生14人を表彰

25日 平成25年度学位記授与式を挙行
平成25年度学位記授与式を桃太郎アリーナで行い、学部生大学院生ら3千200人が新たな一歩を踏み出した。



25日 交流広場オープンセレモニーを開催
「美しい学都」の実現に向け、キャンパス整備計画の一環で環境整備が進んでいた大学会館周辺で交流広場が完成したことを記念し、交流広場オープンセレモニーを開催。
大学会館北側に整備された交流広場は、ピンク色のレンガを敷き詰めた開放的な空間。世界的な建築家ユニット「SANAA」が設計したパーゴラ(日陰をつくりくつろぎの場を創造する屋根)が印象的で、周囲に植えられた樹木が生長すると木陰とパーゴラの陰が重なり合いつて森のような空間を創出。



4 April

26日 「自立若手教員による異分野融合領域の創出」事業が平成25年度事後評価で最高評価Sを獲得したことを顕彰し、異分野融合先端研究コアの穴戸昌彦教授(特任)と宇根山健治元教授(特任)を学長表彰

1日 全学の敷地内で全面禁煙を開始

8日 平成26年度岡山大学・大学院入学式を開催
岡山大学大学院の入学式が桃太郎アリーナで開かれ、学部大学院生ら3千459人が入学した。



9日 本学とベトナム工科大学の修士課程共同プログラム「岡山大学・工科大学特別コース」第6期生の留学生8人が、来日後の奨学金支援を行う「里親企業と対面

15日 平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰の受賞者が決まり、科学技術賞(研究部門)に大学院医歯薬学総合研究科の森山芳則教授と表弘志准教授、若手科学者賞に大学院自然科学研究科の石川篤助教が受賞



18日 マレーシアアプトラ大学と大学間協定を締結



22日 定例記者発表を開催

4 April



25日 第42回岡大サイエンスカフェを開催

7日 コカコーラウエストからスポーツ教育支援金を寄贈される

9日 附属図書館がリニューアルオープン
外観・内装を一新しグループで話し合いながら学習できるスペース「ラーニングコモンズ」を新たに設置。
津島地区の中央図書館は、時計塔両翼の南面をガラス張りにする事で開放的な雰囲気になり、ラーニングコモンズでは、グループの人数や学習形態に合わせて、机の配置を変更して学習することが可能。海外衛星放送が視聴できる語学学習ブース、グループ学習室、セミナー室なども設置。



鹿田分館には、ラーニングコモンズ、セミナー室、個人学習用の閲覧室などを設置し、カフェ「ONKAVA COFFEE」も併設。

12日 廃棄物マネジメント研究センターなどはリユース瓶入りほうじ茶「晴る茶」を岡山大生協で販売開始



13日 岡山大学ダンス部が岡山県の「岡山芸術文化賞」準グランプリを受賞

22日 定例記者発表を開催

研究・臨床成果

■大学院自然科学研究科の矢ヶ崎琢磨特任助教、松本正和准教授、田中秀樹教授および名古屋大学の研究チームは、スーパーコンピュータ「京」を用いたシミュレーションにより、メタンハイドレートが分解しメタンが分離するメカニズムを世界で初めて解明した。アメリカ化学会の国際科学雑誌「Journal of Physical Chemistry B」に掲載。(3月・臨時発表)

■大学院自然科学研究科の呉景龍教授と中国医科大学との共同研究グループは、世界で初めて触覚注意に関する人間の脳内メカニズムをモデルで解明することに成功した。イギリスの神経科学雑誌「NeuroReport」に掲載。(3月・臨時発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の窪木拓男教授らの研究グループは、代表的な炎症性サイトカインの一つである「IL-1 β 」の一時的刺激が、歯髄細胞の未分化性獲得と維持に関与することを初めて明らかにした。「Stem Cell Research & Therapy」に掲載。(3月・定例発表)

■大学院環境生命科学研究科の奥田潔教授らの研究グループは、正常な黄体細胞がリンパ管を通じて卵巣外へ流出することによって黄体が卵巣から消失することを発見した。オンライン科学誌「PLOS ONE」に掲載。(3月・定例発表)

■大学院環境生命科学研究科の清田洋正教授らの研究グループは、新しいインフルエンザ治療薬の候補物質を発見した。タミフル耐性ウイルスの酵素にも効果的なことから、タミフルに代わりうる新しいインフルエンザ薬への展開が期待される。英科学誌「Nature Communications」に掲載。(3月・定例発表)

■大学院自然科学研究科の山本泰教授らの研究グループは、植物が光合成を行っている葉緑体に過剰な光が照射されたとき、葉緑体チラコイド膜の上で光合成関連タンパク質が移動し凝集すること、また膜が本来もっている積み重なり構造がゆるむことを世界で初めて明らかにした。日本植物生理学会の英文雑誌「Plant and Cell Physiology」に掲載。(3月・臨時発表)

■地球物質科学研究センターの米田明准教授、兵庫県立大学、理化学研究所、高輝度光科学研究センターの研究グループは、大型放射光施設Spring-8のBL35XUのX線非弾性散乱装置を用いて、地球マントル最深部に存在する物質「Cm α -CaO $_2$ 」の結晶弾性測定に成功した。英国の科学誌「Nature Communications」に掲載。(3月・臨時発表)

■岡山大学病院の稲垣正俊講師らの研究グループは、自殺に関するインターネットの利用が、自殺の危険性を高めることを見いだした。オンライン科学誌「PLOS ONE」に掲載。(4月・臨時発表)

■異分野融合先端研究コアの金原正幸助教物質・材料研究機構らの研究チームは、大気下室温での完全印刷プロセスによって、有機薄膜トランジスタを形成するプロセスを確立した。「Advanced Functional Materials」に掲載。(5月・臨時発表)

■大学院自然科学研究科の小林達生教授と東京大学の研究チームは、最大193テラという極限的な強磁場において、固体酸素の新しい相を発見した。「Physical Review Letters」に掲載。(5月・臨時発表)

■大学院自然科学研究科の岡本秀毅准教授、江口律子助教、久保園芳博教授らの研究グループは、有機薄膜トランジスタとして世界最高レベルの電界効果移動度を示すトランジスタデバイスを実現した。「Scientific Reports」に掲載。(5月・定例発表)